

～ご参加の皆様へ お願い～

- ・集合から解散まで統一行動となっています
- ・歩行中は一列または2列で歩き交通安全に気をつけてください
- ・昆虫や植物などは採取しないで、カメラに収めてください
- ・弁当や菓子などのゴミは各自お持ち帰りください
- ・記録写真を撮りますのでご協力ください



皆さまとともに学ぶことができることをうれしく思います

市民解説員が案内する市内探訪

紅葉の引田を歩く

引田地区の自然、メタセコイア、秋川の流れを楽しみながら、
ゆかりの人物の足跡、古刹を訪ねる



『武蔵名勝図絵』(模写)

【コース】

武蔵引田駅～旧秋川高校メタセコイア並木～白滝神社～金松寺～六枚屏風岩～真照寺～宝泉寺～武蔵引田駅

【担当解説員】

加藤正昭・笹本英一・浅葉三男・深沢 護

令和2年11月
あきる野市中央公民館

① 旧秋川高校メタセコイア並木

- ❑ 旧正門から北へ約 300 ㍍、82 本のメタセコイア並木が続く。裸子植物スギ科の落葉高木。高さ約 35 ㍍にもなる。旧秋川高校の第 1 期生が植樹。
- ❑ 1965(昭和 40)年、全寮制公立普通科男子校として開校。受験生の減少から 2001(平成 13)年 3 月、第 34 期生の卒業で閉校。三宅島噴火で臨時分校を平成 17 年まで開設。
- ❑ 日本の植物学者三木茂が 1941 年化石で発見、「メタセコイア」と命名。絶滅とみられていたが 43 年中国で「生きていた化石」の木が発見。50 年アメリカから苗木が届く
- ❑ 跡地利用について 2009 年 1 月、あきる野市は「敷地内の樹木や環境を保全しつつ、産業立地を誘導する」という要望書を都に提出

② 白滝神社

- ❑ 昔は「白滝の社」と称された。江戸時代にこの地の代継縫之助が、不動明王を合祀し、社は不動堂と改称された。明治維新の神仏分離によって、白滝神社と改称される クリクラ
- ❑ 神社西側の段丘涯から湧き水が出て小さな滝をつくっている。小川となって集落を流れ生活用水、農業用水に使われてきた
- ❑ 神社本殿には『史記』に登場する英雄たちの 3 つの説話が彫られている

③ 金松寺

- ❑ 臨済宗建長寺派。本尊は聖観世音菩薩。北条氏政の回向位牌がまつられている。足利基氏が開基となり康安元(1361)年に創建されたと伝えられている
- ❑ 二十二世村松南山の墓碑。裏面に門弟 93 人の名が刻まれている。幕末から明治にかけて寺子屋の師匠として近在の農民の子弟を数教えた



④ 六枚屏風岩

- ❑ 加住丘陵の北西端にあり、北側の礫層の懸崖が秋川や雨水により浸食され、高さ 10 ㍍以上の 6 つの土柱が形成された。六枚屏風のように見立てられた
- ❑ 『武蔵名勝図会』にも描かれ、現在も侵食が進み、消失している柱もあります。自然の移り変わりを知ることができる貴重な記念物です(都天然記念物に指定)

⑤ 真照寺

大内通

- ❑ あきる野市の古刹。真言宗豊山派 本尊:不動明王。寛平 3(891)年義寛によって創建、延文元(1356)年に関東管領足利基氏が秋川丘陵の淵上の日照山の頂上に再興
- ❑ 享祿 4(1531)年火災で焼失し、焼け残った薬師堂とともに現在地に移転。薬師堂は室町時代の建築で都の有形文化財。本堂は平成 3(1991)年、開山 1100 年を記念し再建
- ❑ 「猿曳駒絵馬」の版木。志村肥前守が山王権現に奉納。養蚕祈祷の神絵馬として配られた

⑥ 寶泉寺

- ❑ 臨済宗建長寺派 天文年間(1532-54)に、小田原城主北条氏康が薬師如来を奉安する小庵を建立したのが始まり。嘉永 4 年(1851)二月八日火災にあい、堂宇悉く焼失した
- ❑ 医師峰章は早くから名医、仁医として近郷に知られてきた。「その術神に入り、妙を極め、百診百中、疾の癒えざる者無し」「もし貧困にして療資を得ざる者あれば、すなわちこれを救済し、病軀を療養せしむ」

